

# 2024 # FIGS No.44

新年のご挨拶

### ~本来の理念に戻った高知ハビリテーリングセンター~

「高知ハビリテーリングセンター」(以下、ハビリ)が開設されて10年後の2018年は、ハビリにとって激動の一年間でした。9月には西岡由江をハビリセンター長に任命し、新生ハビリとして再スタートを切っています。

西岡センター長が着任時ハビリに入ってまず驚いたことは、管理職が機能しておらず、トップダウンで業務が遂行されており、スタッフのほとんどが何も考えずに日々の業務を行っていることでした。そのため、本来の理念である通過型施設ではなく、ハビリは行き場のない重度の障害者の終の棲家になってしまっていました。

新生ハビリ1年目の2019年には、古い体質であった理事会、評議員会を一新し、事業の全面的な見直しを行っています。 前センター長が新規に受託した事業は、理念に基づいて事業を推進するリーダーの育成がなされておらず、結果として実績 を伴わない事業であったため、高次脳機能障害支援、若年性認知症就労支援、一般相談支援は2019年3月に廃止、特定 相談支援、障害児相談支援、放課後等デイサービスキュールは今年3月で廃止を予定しています。

今までなかった部長職はじめ中間管理職を育成し、管理職としての自覚をもたすとともに、スタッフの採用や研修を積極的にすすめ、スタッフの専門性を高め、自律、自働するように努力し続けています。2021年からは法人全体で成果発表会を開催し、日々の支援を可視化し共有する取組を行い、サービスの質の向上を図っています。最近は今まで以上に質的・量的サービスが充実し、その結果として多くの病院や学校からの紹介が増え、自律にむけ頑張る利用者が増えてきました。

ハビリは今年4月から本来の使命である施設入所、機能訓練、生活訓練、生活介護の生活・訓練支援、就労継続支援B型、就労移行、就労定着支援の就労支援、はるのハビリホームの生活支援といった機能に絞り込み、西岡センター長はじめ多くのスタッフの血の滲むような努力で、5年の歳月をかけハビリの本来の理念である障害者

生まれ変わっています。

「しごと・生活サポートセンターウェーブ」(以下、ウェーブ)は2018年5月に高知駅前にすばらしい新事業所を立ち上げ、何の問題もなく再スタートを切っています。ウェーブも沼慶子センター長を中心に、仕事を通じて障害者の生活を支えるセンターとして、新型コロナ感染症にも負けず元気いっぱいで頑張っています。

の就労支援や地域移行を通じて自律支援をサポートする通過型施設としてのハビリに劇的に

各事業所が障害者の自律という大きな目的に向かって、利用者の皆様が笑顔にあふれ、スタッフみんながいきいきと働くハビリ、ウェーブにしたいと願っています。これからもご支援、ご協力をよろしくお願い致します。 CHIKAMORI



社会福祉法人ファミーユ高知 理事長 近森 正幸

社会福祉法人 ファミーユ高知

#### Kochi Habiti tering Center

●高知ハビリテーリングセンター

〒 781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6 Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-2601

- ◇障害者支援施設
- ·施設入所支援事業 ·短期入所支援事業 (空床型/併設型)
- ·自立訓練事業 (機能訓練/生活訓練)
- ・生活介護事業
- · 就労継続支援B型事業 · 就労移行支援事業 · 就労定着支援事業
- ◇相談支援事業所
- ·特定/障害児相談支援事業
- ◇キュール
- ・放課後等デイサービス事業
- **◇はるのハビリホーム** 
  - 〒781-0313 高知市春野町内ノ谷23番地1
- ・共同生活援助事業

WAVE

- ●しごと・生活サポートセンター ウェーブ 〒 780-0056 高知県高知市北本町1丁目 8-7 Tel (088)820-1221 Fax (088)820-1223
- ◇就労継続支援A型事業「オウンパス」
- ◇就労継続支援B型事業「スウェル」
- ◇特定相談支援事業

#### ●法人本部

〒 781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6 Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-5010



# 両センター長新年のご挨拶





### Kochi Habili 高知ハビリテーリングセンター



2024年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

2023 年は、with/after コロナの生活様式への転換、燃料費・原材料費の高騰や様々な社会課題が表出し、短期間では解決するとは思えない情勢に、将来を不安視する声が多く聞かれた1年であったと思います。しかし、そのような時だからこそ、私たちは持続的に地域福祉を提供する存在であり続けることが重要であると考え、様々な課題に対し、柔軟かつ迅速な対応で事業継続に励んでまいりました。



高知ハビリテーリングセンター センター長 西岡由江

高知ハビリテーリングセンター(以下、ハビリ)は今年16年目を迎えます。開所当初からの理念である「障害があっても自分らしい生活を送ることができる」「利用者を主体として自律に向けてすべてのスタッフが専門性を発揮」「地域と連携を図り地域包括ケアの構築」を実践することに、職員一同心血を注いできたと自負しております。障がい者の終の棲家ではなく「通過型」の障害者支援施設として高知県内に輪を広げてきました。これからもこの営みを継続していかなければなりません。そのためにも、地域、関係各所、そして行政の皆様とも理解を深め、社会福祉法人として支援の質を問い続け、利用者・家族・そして職員も幸せを感じられる法人として邁進する所存です。今年の干支は辰です。「鯉が竜門を登り切って龍になったように」障害福祉の課題や困難を乗り越え、新たな時代に対応した福祉のかたちつくりにチャレンジして参ります。



### しごと・生活サポートセンター ウェーブ





しごと・生活サポートセンター ウェーブ センター長 沼 慶子

私にとっての2023年はどのような一年だったか漢字1文字で表したいと思ってもなかなか出てきません。出てこないのはエピソードが多くありすぎて一つに絞れないのもありますが、昨年のことなのか一昨年前のことなのか記憶があいまいになってしまっているせいもあります。あらためて2023年の手帳を開くと、移転移築5周年、成果発表会、きたほんまちマラソン、ウェーブフェスティバルなどの大きな行事のほか、日々の利用者や職員とのかかわり、出会い、別れ、喜び、葛藤など様々あったことを思い出します。大きく変化したことは新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより以前の習慣が少しずつ取り戻せてきたことです。就労や支援の場では未だマスクの着用や体調の確認は必要としておりますが、利用者や職員の私生活ではマスクなしで旅行や外食にも気軽に出かけられ

るようになり、皆それぞれリフレッシュできているように思えます。あらためて 2023 年の私自身を振り返ると反省すべき点が枚挙にいとまがありませんが、唯一変われたことと言えば前髪をアップにしてせまい額を出せたことです。2023 年の漢字は「額」ですね。

2024年は、しごと・生活サポートセンターウェーブ(以下、ウェーブ)が果たすべき役割をあらためて見つめ、その役割を全力で果たし、これまでと同様に利用者の生活や就労を守り、笑顔を守り続けたいと考えております。今年も皆様から愛されるウェーブである続けられるよう、努めてまいりたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。



# アビリシピック全国(展知県)大会 行ってきた

「去年ほど緊張はなく、良い状態で大会に臨むことができました。当日は、自分自身は 順調に課題をこなしていたつもりでしたが、上には上がいて、その迫力に圧倒されました。 しかし、大会以外に愛知名物や観光地を堪能できて、良い気分転換となりました。今大会 に向けて取り組んだことは、今後の良い経験になったと思います。」



2023年11月に開催された今大会、2 回目の出場ということで、本番は落ち着 いて取り組めたと思います。貴重な体験 を糧とし、新たなる目標に向かって進ん でいってほしいと思います。

生活・訓練部 橋本竜太



## まきのさん / 多川

2023年3月、高知県社会就労センター協 議会(SELP協)の呼びかけから、すずめ 共同作業所・ウィール社・高知ハビリテーリ ングセンターの3事業所による「印刷部会」 が立ち上がりました。共同で新商品の企画・ 販促活動を行い、利用者さんの作業拡大と工 賃向上へ繋げる事が狙いです。

その頃、県内は連続テレビ小説「らんまん」 で牧野ブーム。会議でも牧野グッズの企画と なり、ハビリでは牧野植物園キャラクター「ま きのさん」に山や花など、色彩豊かな自然の 背景を印刷したオリジナル商品「まきのさん クリアファイル」を作成しました。背景は印 刷科利用者の古谷真三さんがデザインしてく れたものです。

商品は「道の駅さかわ」にて現在も販売 中、夏休み期間中は売れ行き好調でした。立

ち寄った際は手に 取ってみてはいか がでしょうか。

就労・相談部 岡村敬世



# 復帰を応援!

機能訓練利用終了者の声

-「働くってえいで〜!」 <sup>♭</sup>

入所・機能訓練を利用された 大田弘子さん。脊髄損傷にて体 幹・両下肢に障害を負われ、病 院・施設を経て2022年1月ハ ビリの利用を開始されました。 車を両手で運転できる仕様に改 造し、運転練習を重ね自動車運



転を再獲得!~もともと行っていた和裁士の復職へ 向け道具の工夫を行い実践練習~初めてのパソコン にも挑戦♪~業者と話し合いを重ねご自宅を生活し やすい環境に改修!~そして2023年5月自宅復帰 を果たされました。今の生活をお聞きすると、和裁 の仕事をこなし、収穫された柚子を絞って出荷す るなど忙しくされている様子でした。「体が動きに



くくても何かせんといかん!」 「働くってえいで~!」元気な 声を聞かせて頂きました。

生活・訓練部 土居文佳



就労継続支援B型 利用者 **倉橋包百さん** 燃ゆる感動 かごしま大会 派遣選手に決定!!

5月に開催された高知県障害者スポーツ大会卓球の部で見事優勝! 10月 28日から開催された特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大 会」に高知県代表として派遣されました。クリーニング科の仕事が終わって から、障害者スポーツセンターでほぼ毎日練習に励み全国大会出場を勝ち取 りました。全国上位選手と対戦し1セット勝ち取ったことはかけがえのない 経験になったと思います。倉橋包百さん!全国大会出場おめでとう‼

就労・相談部 恒石美佐子





# 2023 🗱 🥞 🕖

~4年ぶりの秋祭りをおえて~

去る11月3日(金)に4年ぶりの秋祭りを「高知チャレンジドクラブ」「高知県社会福祉協議会」と連携し、無事開催することができました。

開催にあたっては出店していただいたみなさまはもちろん、ボランティアとして携わっていただいた方々、春野高校のみなさま、来場いただいた地域のみなさまに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

当日は最高気温 25℃の夏日、雲一つない晴天 で「夏祭り?」と勘違いしそうでした。 4年も経過すると記憶は曖昧で、準備段階から「できることをやろう」が自分達を守るための(笑) 【合言葉】として?記憶を呼び起こしながら取り 組みました。

コロナも 5 類に移行し、当日は各地でさまざまなイベントが開催される中、お昼前には駐車場が満車近くになる程の来場者に恵まれ、スポーツイベントや各飲食ブース、舞台イベントなどそれぞれが「マイペース」に過ごして頂いたのではないかと感じる心地良い時間となりました。

予定にはなりますが、来年の11月3日は三連 休の中日になりそうです。来年もまたみなさんに お会いできるのを楽しみにしています。

副センター長 中越太-





内ノ谷地区秋祭りに

### 天狗と獅子舞で参加!

今年もハビリから内ノ谷地区秋祭りに 職員4名で参加させていただきました! 厳かな神事の後に、天狗と獅子舞に扮し て参道を練り歩きました。天狗は着付け 方法から苦労し、面を付けたら息苦しく 視野も狭いため歩くときも大変でした。 獅子舞は慣れない動きと姿勢で腰痛が悪 化しないか心配でした。しかし、当日は 子供たちにも好評で、地域の方にも喜ん でいただけたことが嬉しかったです。

生活・訓練部 渡辺匠馬







### ファミーユ高知法人研修 =

### 虐待等防止、身体拘束適正化研修

実施

法人全体で開催する研修会の一つであるこの研修は、最も重要な研修として位置づけしている。今回は高知県でも様々な活動をされている溝渕先生に講師を依頼させて頂いた。研修では基本的な定義から利用者と働く職員の尊厳、また考えの違いや捉え方によって不適切な行為が起こりうることなど多くのことを学ぶことができた。グループワークでは、アセスメントを正確に行うことや変化があれば共有すること、また支援方法の共有などが大切であること、また不適切な行為を見てしまった際に話ができる環境づくりが大切であることなどが意見として出ており、話し合うことができた。

研修は学ぶだけでなく実際の支援の場に活用するためにあり、一部の職員だけが意識しても変わることはできないため、組織全体で意識し取り組んでいくこと、



環境の改善に取り組むことが何より重要である。 今回講師をして頂いた溝 渕先生にこの場を借りて お礼申し上げます。

センター長 沼 慶子



### 令和5年度第2回

# 高知県社会福祉法人経営青年会セミナーを受講して

「災害現場で活躍できる人になるために」をテーマとして、高知県立幡多青少年の家でセミナーが開催されることとなり災害対策委員として参加いたしました。

座学では「日本の災害の歴史」から学べる 教訓を、グループワークでは震災で起こった 事例を検証しました。この他屋外でもブルー シートとロープを使って簡易テントを建て、 即席の避難場所を設置する練習もしました。

災害時に求められる正解のわからない判断 や疲弊した体で行う共同作業を支えるものは お互いを助け合おうとする心です。 今回のセミナーを通して、恐怖に直面した時にそれを 溶かしてくれるコミュニケーションは特に大切だと学びました。

就労・相談部 柏木雷太





# 利用者がある。



皆の作業が終わった 16 時から 30 分間、しごと場の掃除機掛けを 毎日お仕事としてやっています。 綺麗になると気持ちがスッキリします。掃除が終わってコードをク

ルクル巻くのが難しかったですが今は慣れて出来るようになりました。ウェーブでの掃除機掛けが役立ち、家でもやるようになりお母さんに褒められます。皆が朝来た時に「綺麗になっている」と喜んでもらえるようにこれからも頑張ります。

就労継続支援 B 型 利用者 岡元辰憲



B型にきて、はこおりや、がようしや、こうえん掃除、けいばの掃除をがんばっています。B型の職員にはいろんなさぎょうをさせていただきほんとうにかんしゃしています。

趣味は、好きなテレビを見る事、ゲームをする 事、友達と、街に遊びにいく事です。これからや りたい事は好きな人とけっこんする事、こどもを つくる事です。これからがんばる事は、ハビリテー リングセンターをでてほかのホームでせいかつを がんばりたい事、らいねんの卓球の大会にむけて れんしゅうをがんばることです。

就労継続支援 B 型 利用者 西村頼也



## オウンパス入社式 congratulations!

オウンパス開所から6年7か月が経過し11月16日に記念すべき10回目の入社式を行うことが出来ました。開所から継続して働いている1期生スタッフは1名となりましたが2期生、3期生と続きこの度10期生を迎えることが出来ました。

入社式では毎回スタッフ一人一人に新入社員に向けた一言を述べてもらっていますが、個々の特徴が出る挨拶になっており、見どころの一つです。ここ最近では家族からメッセージをもらいサプライズで本人に伝えたりもしていますが緊張もあるのか期待するような反応が見られることはありません。

現在は9名で仕事を行っていますが今後も人を 増やし色々なことにチャレンジできるようオウン パスにしていきます。 オウンパス 森矢圭吾



# きたほんまち 10/29(日)

北本町を知りたい!と言う思いから始まった、きたほんまちマラソンも今回で3回目を迎えることができました。10月にちなんで今年は【きたほんまち "ハロウィン" マラソン】と名付けました。天気にも恵まれて最高のマラソン日和。景観を楽しみながら走ろうと思ってもいざスタートの合図がなるとみなさんガチ走り。一人ひとりが担当区域を爽快に走りタスキを繋ぐ。走り終わっても今の時代便利なことにスマホーつで中継ができみんなで応援も盛り上がりました。全コース4キロと距離も時間もあっと言う間ではありましたが今年も最高に楽しいイベントになりました。

スウェル 齊藤章人



## 二火災訓練

9月22日に火災を想定 した避難訓練を実施しま した。



今回初めて火災訓練を行う利用者もいましたが 誰一人慌てることなく職員の指示をしっかりと聞 いて速やかに避難を行うことができていました。 避難後はウェーブ駐車場で水消火器を使って消火 器の使用方法などを学びました。

今回の訓練で利用者は速やかに避難ができましたが職員が火点の確認や初期消火、各階の確認



> スウェル 森脇大輔

### クリーニング師試験を終えて



クリーニング試験になんとか合格することができました。クリーニング師養成研修の受講から試験日まで10日余り。実技のアイロン仕上げの練習時間があまり取れず今年は無理かと思いましたが試験前日に研修講師であった、みさとドライ様に特訓して頂き、課題であった袖の "本カフス取り"と制限時間10分以内での仕上げがギリギリできるようになりました。

試験は筆記からです。過去問を学習してはいましたがドライクリーニングや繊維に関する設問が勉強不足で自信が持てず、「ここで落ちたか…」とかえって次の実技試験にリラックスして臨むことができました。

試験官3名が目前におり、受験者2名同時で行うアイロンかけは、独特な緊張感がありましたが10分で仕上げないといけないところ、30秒

ほど時間を残しやり終えることができました。

みさとドライ様の熱 のこもった特訓のおか げで合格できたと思い ます。

スウェル 井上あゆみ





### 全国障害者リハビリテーション研究集会 2023 (in 大阪)

今回参加させていただいた研究集会は、障がい者の支援に関する問題や、地域におけるリハビリテーションのあり方などについて研究発表を行い、障がい者の支援やリハビリテーションの向上を目指すことを目的に実施されました。テーマとして、"ライフステージに応じた切れ目のない支援"が掲げられています。今回私も、その人がその人らしく今いるステージで、安心して生活できるための支援の一つとして関わらせていただいたことを発表させていただきました。発表させていただきました。発表させていただくことで、過去の支援を振り返ることや、至らなかった点などを再考することができたこと、さらには全国から集まられた有意義な発表を聴講することで多くの学びを得る機会となりました。



特別講演では、大阪 大学大学院医学系の池田 学教授の貴重なおきまできる。 支援にあたって切め た。支援にカのてご説の を症例を交えて変から いただき、医療から福



祉、そして社会へ切れ目ない支援を提供することの大切さ、また対象者の困りごとを明確化し、相談できる態勢作りが今後益々大切になってくることを学びました。今回、多くの演題を聴講することができ、似たような事例で悩まれている施設、新たな取り組みをされている施設など様々でしたが、私たちの課題、今後の展望など様々なことを

考える良い機 会となりまし た。

生活・訓練部 橋本竜太

# スピリットアート 入選いただきました!

生活訓練利用の皆さんで"四季の植物"をテーマに、紙を切り茎や葉っぱの一枚一枚から作成していきました。皆の頑張りが入選につながったと思います。「楽しかった」「葉の形に切る作業頑張りました」「皆さん見に来てくれてありがとう」「また来年もやってみたい」「額作り楽しかった」「協力できて良かった」「みんな見に来てくれてよかった」など、利用者からもうれしいコメントをいた



だきました。人と協働することで、より良いコミュニケーションが学べることもありますね。

生活・訓練部 橋本竜太









**リレーエッセ**つ

趣味について ハビリに

ハビリに入職して約1年1カ月が経過しましたが、日々覚えることがあり忙しい毎日を過ごしている僕ですが、休日は Netflix でアニ

メや映画を見たり行きつけの温泉に通い、日々の疲れを癒しています。自分のオススメの店は国分川の近くにある「姫若子の湯」というところが最近営業を開始されていて、とても綺麗で寛げる環境であるので是非行ってみてください。またオススメのお店等あれば教えていただきたいです。 生活・訓練部 渡辺匠馬

### ■ 第57回 日本作業療法学会に参加して ■

#### ● ~わたしと地域と作業療法~ ●

今回、職場と家庭からのサポートをいただき、沖縄で開催された日本作業療法学会に参加させていただきました。前回参加した記憶がハッキリしないほど久しぶりでした。

コロナ禍の影響ももちろんありましたが、最近は「就労」に関連した専門学会や研修に参加する機会が増えたことも影響しましたが、現地開催の学会から全国各地で取り組まれているさまざまな「現場熱」はもちろん、これまでに築かせていただいた方との「やりとり」と新たなネットワーク構築から生まれる「支援熱」を得たいという想いが強かったです。移動による疲労度は高かったですが、学(まなぶ)会(あう)という両輪が揃った学会の有意義さと沖縄作業療法士のホスピタリ

ティをまざまざと見せつけられた時間となりました。

ただ、そのような機会に触れて「わたし自身」 の置かれている状況を照らし合わせると色々な葛 藤も湧き上がって来るわけで…

≪他人と比べない≫ MUHOO というイベント で聞いたその言葉が... さぁ、がんばろう。

副センター長 中越太一





# 季節の花

冬から春が旬のラナンキュラス。「光輝」 や「合格」など新年にぴったりの花言葉を持っ ています。

また黄色には別に「優しい心遣い」という花言葉もあり、可愛らしい花に も花言葉にも癒されます。本年も実り多き一年になりますように。

サンゴミズキ、トモギ、オリーブ、 アルストロメリア、ラナンキュラ ス、ストック、マム、コンシネ、 ドラセナ、ゲットウ

生け花担当職員 小松 香

決算書につきましては ホームページより ご覧いただけます。



#### 利用状況

ハビリテーリングセンター
○2023年11月の見学件数
○11月の1日あたりの平均利用者数
自立訓練
・機能訓練(定員20名) 21.6名
・生活訓練(定員10名) 8.8名
生活介護(定員10名)
8.9名
施設入所支援(定員40名)
アルベーテ
・就労継続支援B型(定員40名)

………43名

・就労移行支援(定員10名)
4名
・就労定着支援 10名
キュール(放課後等デイサービス)
(定員10名)4.3名
はるのハビリホーム(定員36名)
・グループホーム 29.6名
ウェーブ
○2023年11月の見学件数
スウェル 1件
オウンパス 0件
○11月の1日あたりの平均利用者数
スウェル(定員40名) 35名

### 編集後記

明けましておめでとうございます。今年は辰年!十二支の中で唯一架空の生き物でなぜ干支に選ばれたのか諸説あるようですが、いずれにしても縁起の良い生き物として選ばれているようです。2024年も明るく楽しい一年になることを願っています。

まる子

オウンパス(定員10名) … 6.7名